

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要

施設コード

S08-03-01

施設名		荒川授産場				
所在地		東尾久四丁目32番7号				
部課名		福祉部高齢者福祉課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	平成4年	550,000	0	0	550,000
	増改築①	平成30年	38,263	0	0	38,263
	増改築②					
併設施設		荒川区シルバー人材センター				
竣工年月日		平成4年12月25日		区職員	その他	
供用開始年月日		平成5年4月1日	職員数	1人	人	
構造		RC造	階層	地上3階・地下1階		
面積		敷地面積	548.84㎡			
		延床面積	1088.52㎡(うち授産場分534.92㎡)			
設置目的・経緯		高齢者や生活困難者に職業及び技能を提供するため				
関連部署		生活福祉課				
根拠法令等 設置条例		社会福祉法・生活保護法・荒川区立授産場条例・荒川区立授産場条例施行規則・要綱				
駐車場の状況		4台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		20台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



Ⅱ 管理運営の状況

管理形態	指定管理	荒川区シルバー人材センター	期間	令和6年4月	から	
				令和11年3月	まで	
事業内容	・一般の企業に就職することが難しい高齢者や生活困難者に対し働く場所と仕事の提供を行う。 ・任意の高齢者団体等に対し、会議室の貸出を行う。					
対象者	一般の企業で働くことができない60歳以上の高齢者及び低所得者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後4時				
	休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、お盆休み、年末年始				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	年間場内利用者延人数（人）	176	131	103	72	9
	年度末利用者数（人）	14	10	7	6	
	開所日数（日）	234	235	234	238	23
	平均月額支払工賃（円）	19,045	22,454	28,293	38,519	27,07
に指定 に係る 管理 費	指定管理料（千円）	18,291	19,088	20,969	22,939	25,31
	指定管理者の支出合計（千円）	16,140	18,203	17,542	18,462	25,31
	指定管理者の人件費（千円）	1,401	1,897	1,946	1,897	3,08
備考	人事異動により4年度から授産場長が変更となったため、人件費が増えている。					

III 財務諸表

(単位：千円)

行政コスト計算書				行政収入					
勘定科目		R5年度	R6年度	差額	勘定科目		R5年度	R6年度	差額
行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
	物件費	18,048	19,441	1,393		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	84	0	▲ 84		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	15,953	18,009	2,056		その他	8,923	7,027	▲ 1,896
	不納欠損・賃倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	8,923	7,027	▲ 1,896
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 25,162	▲ 30,423	▲ 5,261
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	34,085	37,450	3,365		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 25,162	▲ 30,423	▲ 5,261
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 25,162	▲ 30,423	▲ 5,261		

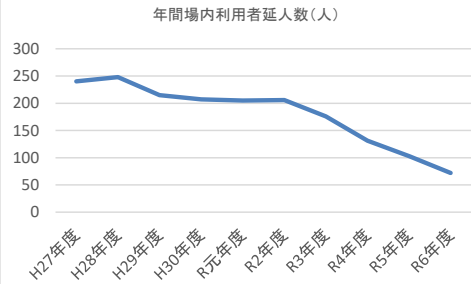
貸借対照表				貸借対照表					
勘定科目		R5年度	R6年度	差額	勘定科目		R5年度	R6年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	640,306	622,297	▲ 18,009		その他の流動負債	0	0	0
固定資産	土地	486,446	486,446	0	固定負債	固定負債	0	0	0
	建物	621,548	621,548	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 467,688	▲ 485,697	▲ 18,009		退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	6,596	6,596	0		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 6,596	▲ 6,596	0		負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	640,306	622,297	▲ 18,009
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	640,306	622,297	▲ 18,009
	その他の固定資産	0	0	0		負債及び正味財産の部合計	640,306	622,297	▲ 18,009
	資産の部合計	640,306	622,297	▲ 18,009					

備考 行政費用の物件費は指定管理料に19,427千円、AEDリース料に14千円である。年間場内利用者延べ人数の減少により、行政収入その他に計上されている授産施設事務費が減少している。

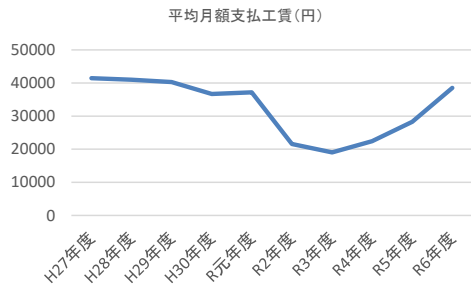
	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	74.0	77	76	78.4	
	1㎡あたりコスト(円)	61,749	66,840	63,720	70,010	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	9	10	11	10.3	
	開館1日当たりコスト(円)	141,158	152,145	145,662	157,353	
	利用者1人当たりコスト(円)	187,676	272,931	330,922	520,139	
備考	令和5年度のエレベーター改修工事及び令和6年度の指定管理料の増加により、1㎡あたりコストが増加している。また、延べ利用者数が減少したことにより、利用者1人当たりコストも増加している。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	年度末利用者数(人)	目標値	18	18	15	12
		実績値	14	10	7	6
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○電気設備及び給排水設備等の老朽化が目立ってきている。 ○安定した作業工賃を確保するため、受注先の開拓及び利用者数の増加に努める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○施設の計画的改修を実施していく。 ○受注取引先との連絡を密接にするとともに、きめ細やかな納品スケジュールを組むなどにより、取引先の信頼を高める努力を続ける必要がある。 ○指定管理者と連携し、安定的な運営を図る必要がある。 ○他部署と連携を図り、新規利用者に繋げる必要がある。					
議会、利用者等からの意見						



利用者の高齢化等により、令和2年度から利用者数の減少が続いている。



利用者数の減少により、一人あたりの平均月額支払工賃が増加している。